

和泉短期大学 対面授業開講に向けてのロードマップ 2020年5月27日

レベル	学年	授業	実習	コロナ感染症予防対策	図書館	LCW・CDC	スクールバス	学食・Yショップ	サークル活動		
0	通常	全学年	通常どおり								
1	一部制限	1年	一斉登校 通常授業			①感染予防のための基本的な対策 ・扉は常に開けている ・入口に消毒液設置 ・換気の徹底 ・カウンターのビニールカーテン(施設ユニットで準備中) ・入館者のマスク着用 ・返却本を1日放置してから、書架に戻す。	消毒液設置 換気(密閉を避ける) マスク着用 アクリル板を設置 大声での会話自粛	[学食] 学食は営業なし。お弁当を作ってYショップで販売			
		2年									
		専攻科									
2	制限	1年	分散登校・オンライン授業	6/8(月)①区分の学生 1限入学式・2限実習授業 3限～授業 6/15(月)②区分の学生 1限入学式・2限実習授業 3限～授業	・全学生、半数に分散しての1日おきの登校 ・受講・移動時(密集を避ける) ・教室内 間隔をあけて着席(密接を避ける) ・換気(密閉を避ける) ・マスク着用 ・健康状況の記録(検温) ・学内右側通行 ・廊下にたまららない(ロッカー使用禁止) ・手洗い・消毒の励行(各教室に消毒液設置) ・昼食は教室で間隔をあけてとる ・蓋つき容器で水分補給(熱中症予防)	②ソーシャルディスタンスを保つための環境整備 ・館内人数制限のための「通行手形方式」採用を検討中 ・返却ボックス利用の推進 ・カウンターまでの位置テープ ・コピー機までの位置テープ ・学習スペースの椅子の間引き。 ・共同研究室の利用を中止または2名までと制限する。 ・AVルームの利用を中止または2名までと制限する。 ・AVブースは、2ブースのみ利用可、各ブース1名で利用する。 ・ロビー(コピー機・雑誌)スペースの椅子を撤去する。 ③利用者が混雑する状況を想定した対応(実習や提出課題のための図書館利用に関して) ・実習のために利用者が増加した時の対応として、「銀行番号札方式」の採用を検討中 ・指定図書の出は、課題の時期に合わせて、指定図書をカートに乗せてカウンター前に設置 ④今後対策を検討すること ・使い捨て手袋の使用 ・フェイスシールドの使用	【CDC・WILL共通】 消毒液設置 換気 利用者のマスク着用 大声での会話自粛 掲示も併用 飲食禁止 密集を避けた座席配置 ※教員は課題設定を工夫し、各教室に学生が集まる状況を作らない 【WILL】 支援者の机の上にアクリルカバー 60cm高を設置予定 窓口に誘導ラインテープ設置済み PCや周辺機器の消毒(キーボード、マウスカバーは拭くのが難しいため使い捨てのカバーとしてサララップを使用開始) 【CDC】 アクリルカバーの設置は難しいため、フェイスシールドの使用を検討 CDCの備品を随時消毒	通常の半数での乗車(密集を避ける) 間隔をあけて着席(密接を避ける) 換気(密閉を避ける) マスク着用 大声での会話自粛	昼食を持ち込むことは可能(使用可能時間9時～18時) [Yショップ] 営業時間 9時30分～16時30分 Yショップは、コミュニティサロン側にも陳列棚を置き、間隔を広げる レジ前に誘導ラインテープ設置		
		2年		6/8(月) 3限～授業	6/3-5オリエン 6/8-12実習先オリエン期間 6/22-7/3 教育実習(幼稚園)該当者のみ	・体育時の体育館更衣室は、男子用も女子が使用、男子は2階A-1、A-2を使用	・ロビー(コピー機・雑誌)スペースの椅子を撤去する。 ③利用者が混雑する状況を想定した対応(実習や提出課題のための図書館利用に関して) ・実習のために利用者が増加した時の対応として、「銀行番号札方式」の採用を検討中 ・指定図書の出は、課題の時期に合わせて、指定図書をカートに乗せてカウンター前に設置 ④今後対策を検討すること ・使い捨て手袋の使用 ・フェイスシールドの使用	【CDC】 アクリルカバーの設置は難しいため、フェイスシールドの使用を検討 CDCの備品を随時消毒	換気(密閉を避ける) マスク着用 大声での会話自粛	Yショップは、コミュニティサロン側にも陳列棚を置き、間隔を広げる レジ前に誘導ラインテープ設置	
		専攻科		一斉登校	6/8(月)・1限入学式～授業	8/28-9/4 実習I 9/21-29 訪問介護実習	【介護実習室】 ・実技授業の前の検温 ・手洗い・マスクの着用・換気 ・実技着への着替えと洗濯 ・実技用上履きの足底消毒 ・サイドレールの消毒 ・リネンの頻繁な交換 ・実習室の床の消毒 ・密着を必要とする実技では人数を1/2体制 ・実技授業開始は7月下旬	・ロビー(コピー機・雑誌)スペースの椅子を撤去する。 ③利用者が混雑する状況を想定した対応(実習や提出課題のための図書館利用に関して) ・実習のために利用者が増加した時の対応として、「銀行番号札方式」の採用を検討中 ・指定図書の出は、課題の時期に合わせて、指定図書をカートに乗せてカウンター前に設置 ④今後対策を検討すること ・使い捨て手袋の使用 ・フェイスシールドの使用	【CDC】 アクリルカバーの設置は難しいため、フェイスシールドの使用を検討 CDCの備品を随時消毒	アクリル板・消毒液を設置 職員添乗により予防指導・安全確認	
3	緊急事態宣言	全学年	休校につき、自習中心型学習(課題提示)、またはオンライン授業(資料配信型・オンデマンド型)								

20200527
現在→